

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 6 日 (2007.12.6)

【公開番号】特開 2005-232437 (P2005-232437A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-034
 【出願番号】特願 2004-369198 (P2004-369198)
 【国際特許分類】

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/65 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 175/04 Z A B

C 0 8 G 18/65 Z

C 0 9 J 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 19 日 (2007.10.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー (A) と、酸性リン酸エステル (B) と、エポキシ基を有するシランカップリング剤 (c - 1) 及びメルカプト基を有するシランカップリング剤 (c - 2) からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のシランカップリング剤 (C) とを含有してなり、

前記ホットメルトウレタンプレポリマー (A) がポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られ、前記ポリオールの少なくとも 20 重量 % がポリエステルポリオールであるとともに、

前記酸性リン酸エステル (B) が、炭素原子数 1 ~ 4 の範囲のアルキル基を有するリン酸モノアルキルエステル及びリン酸ジアルキルエステルからなる群より選ばれる少なくとも 1 種である湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【請求項 2】

前記ポリエステルポリオールが、直鎖状脂肪族ポリエステルポリオールを含むものである請求項 1 に記載の湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【請求項 3】

前記ポリオールが、ポリエーテルポリオールをも含むものである請求項 1 に記載の湿気硬化性ホットメルト接着剤。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

即ち、本発明は、イソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー (A) と、酸性リン酸エステル (B) と、エポキシ基を有するシランカップリング剤 (c - 1) 及び

メルカプト基を有するシランカップリング剤（c - 2）からなる群より選ばれる少なくとも1種のシランカップリング剤（C）とを含有してなり、前記ホットメルトウレタンプレポリマー（A）がポリオールとポリイソシアネートとを反応させて得られ、前記ポリオールの少なくともも20重量%がポリエステルポリオールであるとともに、前記酸性リン酸エステル（B）が、炭素原子数1～4の範囲のアルキル基を有するリン酸モノアルキルエステル及びリン酸ジアルキルエステルからなる群より選ばれる少なくとも1種である湿気硬化性ホットメルト接着剤を提供するものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

まず、本発明で使用するイソシアネート基含有ホットメルトウレタンプレポリマー（A）について説明する。

当該ウレタンプレポリマー（A）は、常温で固体又は粘稠な性状を有するものであり、ポリエステルポリオールを少なくともも20重量%を含むポリオールと、ポリイソシアネートとを反応させて得られるものである。